

第4学年国語科学習指導案

日時 平成16年10月13日(水)
児童 男子11名 女子4名 計15名
指導者 教諭 福島 淳

- 1 単元名 調べたことをほう告しよう
教材名 生活を見つめて ― 四年一組生活白書

2 単元について

(1) 単元の主目標

学習指導要領国語科3・4年の「書くこと」に関する目標は、「相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる。」である。その中でも特に、内容の工「調べて分かったことと考えたことを区別し、段落と段落との続き方に注意して書くこと。」を中心に指導するために本単元を設定した。

主目標は、「生活の中で疑問に思ったことを調べ、報告する文章を書いて、自分たちの生活を見直すことができる。」である。

その他に、学習指導要領国語科3・4年の「書くこと」の内容のイ「書く必要のある事柄について、調べる項目を明らかにして、調査することができる。」についても、単元の学習を通して指導していく。

(2) 単元について

本単元「調べたことをほう告しよう」は、自分たちの生活の中で疑問に思ったことについて、事実を調べて分析し、現実を把握するとともに、今後の見通しまで検討してまとめた文章を書くことというものである。したがって、まず最初に自分たちの生活のどの局面に光を当て、そこから何を明らかにしたいのか話し合う必要がある。その際、教材文をそのまま用いたり、独自の例などを出し合い、子供の生活の特性を浮かび上がらせ、白書作りへとつなげる学習である。

また、調査活動では、アンケートやインタビューを行うが、まとめる際には「なぜ」「何について」「どんな方法で」調べたかを明記することになるので、自分たちの生活の何を明らかにしたいかははっきりさせたいうえで、目的と方法を定めることになる。さらに、調査結果は、数値化されることになるので、図表やグラフなど、表し方に工夫が求められる。

(3) 子供の実態

子供たちはこれまで、「新聞記者になろう」で書くこととする事柄の中心を明確にしなが、段落と段落の続き方に注意して書くことを、「グラフをもとに」では、書くこととする事柄が読み手に分かりやすいように事柄ごとに分けるなどして書くことを学習してきた。

日常の学習活動でも、日記や行事作文、作文スキルなどに取り組んでおり、これらの活動を通して自分の思いを文章に表現できるようになってきている。

しかし、相手と目的を意識して自分の考えを伝える事が苦手な子、分かりやすく伝える文章表現や構成の工夫を考えることが苦手な子も見られる。

文章を書くことに意欲的に取り組めるようになってきてはいるが、相手・目的意識をしっかりと持ち、分かりやすい文章構成と表現について、指導していく必要があると考えられる。

(4) 単元と子供との関わり

子供たちはまず初めに、自分たちの生活の特性を浮かび上がらせる手段として「白書」としての報告文の書き方を学ぶ。次に、自分たちの生活の中から問題意識を持ったことについて調べる項目を挙げ、そこから何を明らかにしたいか考えさせる。その次に明らかにしたいことを、アンケートやインタビューなどで調査し、調査結果を図表やグラフなどにまとめ、分かったことをメモに書き、考察しやすいように整理する。そしてまとめたことから組立てを考えて報告の文章を書き、最後に「生活白書交流会」開き発表し合う。

このように、調査したことから分かったことを書き、そのことについて考察したことを報告文に書くことで、書きたいことの内容を明らかにしながら段落と段落のつながりに注意して書く力を身につけることができると考える。さらに生活白書を書き、交流することで、自分たちの生活上の課題を見つけ、自分たちの生活を見つめ直す学習ができるものとする。

(5) 指導にあたって

導入の段階で、自分たちの生活の中で課題となっていることを挙げさせ、生活を見直す上で、調べることを決めさせる。次に調べ方を決め、実際に調べさせ、結果を数値で表すことで、より事実を明らかにさせたい。

本時では、調査結果の図表やグラフ、分かったことを書いたメモをもとにして、報告文の下書きを書かせたい。その際、事前の学習で作成した組立て表を土台に文の書き方を示すことで、子供が実際の書く作業に取り組みやすくしたい。

また、評価活動においては、お互いに書いた記事を読み合うことで、相手に分かりやすい内容か、分かりやすい工夫をしているか、相手意識・目的意識をより意識したものか振り返るようにさせたい。

3 単元指導目標

単元の主目標

生活の中で疑問に思ったことを調べ、報告する文章を書いて、自分たちの生活を見直すことができる。

【国語への関心・意欲・態度】

生活の中で疑問に思ったことを調べ、事柄を整理して、分かりやすい報告文を書こうとする。

【書くこと】

調べて分かったことと考えたことを区別し、段落と段落の続き方に注意して、報告文を書くことができる。 (書 工)

書く必要がある事柄について、調べる項目を明らかにして、調査することができる。 (書 イ)

【言語事項】

文章全体における段落と段落の役割を理解することができる。 (言語 オ)

句読点を適切に打ち、また、段落の初めなどの必要な箇所は、行を改めて書くことができる。 (言語 ウ)

4 単元指導計画【15時間】

過程	時間	学 習 活 動	評 価 規 準
第 1 次	1	<ul style="list-style-type: none"> 単元のねらいを知り、見通しを持つ。 生活白書を作る目的とその方法について理解し、生活白書を書くことを知る。 自分の生活を振り返りながら、生活白書を書くための題材を決め、学習計画を立てる。 	生活白書を作る目的とその方法を、教材文を読んだりして理解し、学習の見通しを持つとしている。【関】 生活白書を作る目的とその方法を理解し書くための題材を決めることができる。【書】 漢字や語句を理解している。【言】
	2		
第 2 次	3	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの作り方を理解し、アンケートを作る。 アンケートに必要な項目について理解する。 アンケートに必要な項目や選択肢を考え、アンケートを書く。 	必要な項目を考え、相手に分かりやすいアンケートを作ろうとしている。【関】 アンケートに必要な項目や選択肢を考え、アンケートを書いている。【書】 相手や状況に応じて、文章を敬体と常体に気を付けて、書いている。【言】
	4		
	5	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果を整理する。 調査結果から分かったことと、考えたことを分けて取材メモに書く。 追加調査が必要な場合には、追加調査項目を書く。 	調査結果を整理しようとしている。【関】 調査結果から分かったことと、考えたことを整理し書いている。【書】 文章全体の段落の役割を理解している。相手や状況に応じて、文章を敬体と常体に気を付けて、書いている。【言】
	6		
	7		
	8		
	9	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすいように工夫して、資料を作る。 調査結果が分かりやすいように、表やグラフなどの資料を作る。 	調査結果を整理しようとしている。【関】 調査結果を分かりやすいように工夫して、表やグラフなどの資料を作っている。【書】
	9	<ul style="list-style-type: none"> 報告書の書き方を学習する。 例文から報告書の書き方を理解する。 	例文から報告書の書き方を理解しようとしている。【関】 例文から報告書の書き方を理解している。【書】 文章全体の段落の役割を理解している。【言】
	10	<ul style="list-style-type: none"> 報告書の構成を考え、組立て表を書く。 取材メモに書いた分かったことと、考えたことを組立て表に貼り、報告書の構成を考える。 	報告書の構成を考え、組立て表を書こうとしている。【関】 報告書の構成を考え、組立て表を書いている。【書】 文章全体の段落の役割を理解している。【言】
	11	<ul style="list-style-type: none"> 組立て表をもとに報告文を書く。 「調べた理由」「調べたこと」「調べ方」「分かったこと」「考察」を区別して書く。 	組立て表をもとに、「調べた理由」「調べたこと」「調べ方」「分かったこと」「考察」を区別して書こうとしている。【関】 段落の続き方に注意して、「調べた理由」「調べたこと」「調べ方」「分かったこと」「考察」を区別して書いている。【書】 句読点を適切に打ち、段落の初めなど必要な箇所は、改行している。【言】
12			
本時			
13	<ul style="list-style-type: none"> 資料を加えて、推敲・清書・製本をする。 表やグラフを付け加え、書き上げた文章を観点に沿って推敲・清書をし、製本して完成する。 	資料を加えて、書き上げた文章を観点に沿って、推敲・清書・製本をしようとしている。【関】 書き上げた文章を誤字・脱字・段落と段落の続き方に注意して、推敲・清書をしている。【書】 漢字や語句を適切に使っている。文章全体の段落の役割を理解している。【言】	
14			
第 3 次	15	<ul style="list-style-type: none"> 報告書を発表し合って、生活を振り返る。 お互いの報告書のよさや表現の工夫について感想を交換し合う。 	報告書を発表し合って、生活を振り返ろうとしている。【関】 自分の伝えたいことが伝わったかどうか、振り返っている。【書】

5 本時の指導

(1) ねらい

【書くこと】組立て表をもとに、自らの考えをはっきりさせ、相手に分かりやすい報告文を書くことができる。

(2) 本時の展開(12/15時間)

課程	主な学習活動	指導上の留意点 評価
つかむ	<p>1 学習課題の確認 めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「分かったこと」「自分の考え」を分かりやすく伝えられるように、段落をはっきりさせて書こう。</p> </div> <p>2 視点の確認 調べて分かったことや考えたことが読み手に分かりやすく伝わるようにするために、例文ではどんな工夫をしていたのか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの段落に一つの内容を書く。 ・調べて分かったことを「結果」「予想と比べて」「追加調査」へとさらに分けて書く。 ・最後の段落に、自分がどう思ったのかを書く。 ・生活を見つめ直すことができるような、自分の考えを書く。 	<p>・報告文の前半を読むことで前時の学習を想起し、本時の学習に意欲を持てるようにする。</p> <p>・学習課題を確認させる。</p> <p>・相手意識・目的意識を確認し、読む人の立場に立って書くことを確かめる。</p> <p>・視点を確認させる。</p>
ふかめる	<p>3 記述 組立て表をもとに報告文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点に気をつけながら、記事の下書きを書く。 	<p>・視点を意識させながら、記事の下書きを書かせる。</p> <p>調べて分かったことと考えたことを区別し、段落と段落の続き方に注意して、読み手に分かりやすく伝わるような報告文を書いている。</p> <p>A 段落の続き方に注意し「調べて分かったこと」「考えたこと」を区別して、生活を見つめ直すことができる報告文を書いている。</p> <p>報告文の基本的な構成を捉えている。 構成や表現を工夫し、「調べて分かったこと」「考えたこと」を区別して、書いている。 生活を見つめ直すことができるような自分の考えを書いている。 相手・目的を意識して書いている。</p> <p>B 例文を参考にして、段落の続き方に注意し「調べて分かったこと」「考えたこと」を区別して、報告文を書いている。</p> <p>報告文の基本的な構成を捉えている。 「調べて分かったこと」「考えたこと」を区別して、書いている。 調べて分かったことに対して、自分の考えを書いている。 相手・目的を意識して書いている。</p> <p>Ⓧ例文を見ながら、一つの段落に一つずつ書くようにさせる。 組立て表と段落を対応させて、書かせるようにする。 例文の書き出しの言葉に着目することで段落をはっきりさせた文を書かせるようにする。 (個人診断票から)</p>
まとめる	<p>4 本時の学習の振り返り 書いた記事をグループ内で交換して読み合い、お互いのよい表現のところを見つけたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互評価 ・自己評価 <p>5 次時の確認 推敲し、清書をする。</p>	<p>・書くときの視点をもとに、友だちの表現のいいところを見つけさせたりする。</p> <p>相互評価・自己評価ができる。(評価シート)</p> <p>相互評価でとまどうときは、再度視点に振り返りながら、友だちの記事を読むようにさせる。 (個人診断票から)</p>